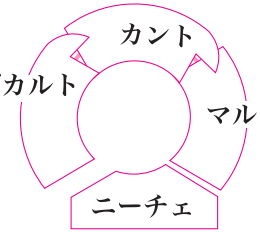
普遍志向 ― 個別志向



無意識
- フロイト（1856-1939）『自我論集』
- ユング（1875-1961）『変容の象徴』*

生
- ベルクソン（1859-1941）『物質と記憶』
- オルテガ（1883-1955）『大衆の反逆』
- ジンメル（1858-1918）『ジンメル・コレクション』

言語哲学
- ウィトゲンシュタイン（1889-1951）『論理哲学論考』*

科学哲学
- ラッセル（1872-1970）『哲学入門』
- M・ポランニー（1891-1976）『暗黙知の次元』

主観・実存
- メルロ＝ポンティ（1908-1961）『メルロ＝ポンティ・コレクション』
- フッサール（1859-1938）『間主観性の現象学』
- ハイデッガー（1889-1976）『存在と時間』
- サルトル（1905-1980）『存在と無』
- カッシーラー（1874-1945）『啓蒙主義の哲学』*
- レヴィナス（1906-1995）『実存から実存者へ』
- ヴェイユ（1909-1943）『重力と恩寵』

批判・批評
- アドルノ（1903-1969）『プリズメン』
- グラムシ（1891-1937）『新編 現代の君主』
- ブロッホ（1885-1977）『この時代の遺産』*
- クラカウアー（1889-1966）『天国と地獄』*
- アガンベン（1942-）『スタンツェ』
- ソンタグ（1933-2004）『反解釈』
- ベンヤミン（1892-1940）『ベンヤミン・コレクション』
- オーウェル（1903-1950）『ウィガン波止場への道』*

神秘・美・構成
- シュタイナー（1861-1925）『自由の哲学』
- バタイユ（1897-1962）『エロティシズム』
- クレー（1879-1940）『造形思考』
- パノフスキー（1892-1968）『イコノロジー研究』

生産・消費
- ヴェブレン（1857-1929）『有閑階級の理論』
- アルチュセール（1918-1990）『資本論を読む』*
- K・ポランニー（1886-1964）『経済の文明史』
- ボードリヤール（1929-2007）『象徴交換と死』

法・国家
- ハート（1907-1992）『法の概念〔第3版〕』
- アレント（1906-1975）『人間の条件』

ポストモダン
- ドゥルーズ（1925-1995）『カントの批判哲学』
- デリダ（1930-2004）『声と現象』
- クロソウスキー（1905-2001）『ニーチェと悪循環』

構造・記号
- フーコー（1926-1984）『フーコー・コレクション』
- バルト（1915-1980）『エクリチュールの零度』
- レヴィ＝ストロース（1908-2009）『アスディワル武勲詩』
- ダグラス（1921-2007）『汚穢と禁忌』

文化研究
- ハリソン（1850-1928）『古代芸術と祭式』*
- カントーロヴィチ（1895-1963）『王の二つの身体』
- アタリ（1943-）『1492 西欧文明の世界支配』

社会史
- フェーヴル（1878-1956）『フランス・ルネサンスの文明』*
- ル・ゴフ（1924-2014）『子どもたちに語るヨーロッパ史』
- ホブズボーム（1917-2012）『匪賊の社会史』

未開・辺境
- モース（1872-1950）『贈与論』
- フレイザー（1854-1941）『初版 金枝篇』
- エリアーデ（1907-1986）『世界宗教史』

古典・学芸
- ブランショ（1907-2003）『来るべき書物』
- スタイナー（1929-）『悲劇の死』
- アウエルバッハ（1892-1957）『ミメーシス』*
- パチャン（1895-1975）『ドストエフスキーの詩学』

構造志向 ― 主体志向

＊印は現在、品切れ中です